

ろうさい ニュース

平成 29 年

11 月号

第 399 号

■整形外科の紹介

浜松労災病院 副院長（整形外科部長事務取扱） 河本 正昭

平素よりお世話になっております。今月は整形外科です。この1年の新たな取り組みを紹介いたします。

■脊椎前外側椎体間固定術

脊椎固定術のひとつの手技ですが、後方から椎弓の切除することなく、側腹部皮切、後腹膜経由で椎体前側方からプラスチックのケージを挿入します。（図1）

利点はふたつあります。椎弓を切除しませんので神経を展開しません。神経周囲の癒着のリスクが著しく低下します。もうひとつの利点は後方固定法に比べて大きなケージが挿入されます。変形の矯正力に優れ、かつ神経周囲が拡大されることもあります。

（間接除圧効果、図2）



図1. 前外側椎体間固定術



図2. 間接的除圧効果、前方にケージを設置しただけで後方からの操作することなく圧迫が改善

前方椎体間固定術の基本的な手技は従来通りですが、以前は自家骨を成型して移植していました。打ち込むと移植骨が壊れますので椎体間を広げるための器具設置の手間を要しました。ケージは叩き込んでもまず壊れません。より小さい展開で固定できます。

欠点は後方からのスクリュー刺入は欠かせません。術中の体位変換を要します。2回に分けることもあります。

基本的な手技はほぼ同じですが、新しい器械の導入に当たっては所定のトレーニングが必要です。当院でも昨年より準備が整い、数例実施しております。症例によっては劇的な効果を得られることもあり、適応を選べば非常に有意義な手術であると考えています。

■その他取り組み

・人工関節術後早期の疼痛への取り組み、日は痛いものですが、いろいろな方法を組み合わせ苦痛を和らげる工夫をしています (H29.6 濱本報告 @JOSKAS)。

・外転筋を温存する人工股関節置換術。症例によっては筋肉へのダメージを最小限にする方法を取り入れています。濱本が担当ですが次回に詳しく紹介します。

■おまけ

初期診療で見逃しやすく、経過とともに増悪する骨折について紹介します。

1. 上腕骨遠位端骨折: 初診時 X 線のみでは判別困難なこともあります (特に高齢者)。しかし徐々に転位し偽関節化します。(図 3) 早期手術の対象です。
2. 大腿骨頸部骨折: 訴えは膝の痛みでした。(図 4) 股関節疾患では膝痛はよくある主訴のひとつです。
3. 強直脊椎に伴う椎体骨折: 椎体同士の骨性の癒合は高齢者においては稀ではありません。このような脊椎の椎体骨折部は極めて不安定です。(図 5) 全身状態次第ですが早期手術の対象です。



図 3. 初診時転位は軽度であるが、
外固定中に転位増悪した



図 4. 主訴は膝痛であり初診時に膝の X 線のみ
撮影され、骨折なしと判断された

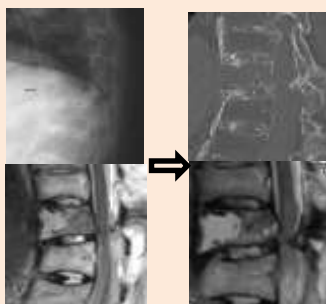


図 5. 強直脊椎に伴う脊椎骨折. 受傷早期は転位認めず. 頭尾側に及ぶ椎体前縁の骨性連続. 経時的に圧壊進み, 麻痺も出現

一般的な手術においても日々新しいものが登場しております。数ある新しい手技の中でも治療効果と安全性に優れたものがあるのであれば積極的に取り入れていきたいものです。

■新しい内視鏡を導入しました

この度、内視鏡室に新しい内視鏡を2本導入しました。

○上部消化管用ビデオスコープ（G I F-Q 2 6 0 J）

- ・高解像C C Dが採用され、観察能力に優れた高画質と 140 度の広い視野角を実現
- ・ウォータージェット機能により観察時や処置時に良好な視野を確保（写真 2）
- ・3.2mmの鉗子チャンネルを備え、E S D等の手技の際に出血部位の確認が可能（写真 3）



写真1 G I F-Q260 J



写真2



写真3

○大腸ビデオスコープ（P C F-H 2 9 0 Z L / I）

- ・先端部は 11.7mm のハイビジョン対応の高画質で拡大倍率 110 倍の光学ズームを搭載
- ・副送水機能を有し、観察や処置を中断することなくクリアな視野を確保
- ・170 度の広視野角で観察できるので、隠れた病変部を発見できる



第29回浜松EAST医療連携セミナーの開催について

平成29年11月29日（水）に浜松EAST医療連携セミナーを下記のとおり開催いたします。今回は「**糖尿病**」がテーマです。ご多忙中恐縮ではございますが、ご出席いただけますようお願い申し上げます。

記

日 時：平成29年11月29日（水）
19:45～21:00
場 所：浜松労災病院 6階 大会議室
講 師：慶應義塾大学医学部腎臓内分泌代謝内科 特任講師 田中 正巳 先生



第16回浜松EAST看護連携連絡会の開催について

平成29年11月17日（金）に浜松EAST看護連携連絡会を下記のとおり開催いたします。今回は「**高齢者の嚥下～誤嚥防止はどうしたらいい？～**」がテーマです。ご多忙中恐縮ではございますが、ご出席いただけますようお願い申し上げます。

記

日 時：平成29年11月17日（金）
13:30～15:00
場 所：浜松労災病院 6階 大会議室
対 象：看護従事者、介護職員、介護支援専門員



医師の退職のお知らせ

神経内科床並医師と小児科鈴木医師は12月で退職となります。
なお、後任の医師が着任の際には本誌を通してご連絡いたします。

独立行政法人 労働者健康安全機構	電話 053-411-0366	受付時間
浜松労災病院 地域医療連携室	fax 053-411-0315	月～金 8:15～18:00 土 8:15～12:00